

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：警察費 項：警察管理費 目：警察本部費

事業名 警察における男女共同参画組織の実現事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

警察本部 警務部 警務課 電話番号：058-271-2424 (内 2611)

E-mail：c18873@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,092 千円 (前年度予算額： 1,092 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,092	0	0	0	0	0	0	0	1,092
要求額	1,092	0	0	0	0	0	0	0	1,092
決定額	1,092	0	0	0	0	0	0	0	1,092

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

令和3年に「岐阜県警察におけるワークライフバランス等の推進のための取組計画」を策定し、引き続き女性警察官の採用・登用の拡大等に取り組むところ、男女共同参画組織の実現に向け、最新のトレンドに精通した部外講師による研修会を開催し、職員の意識改革を図る。

(2) 事業内容

ア 女性が活躍できる職場環境の醸成には、これを牽引すべく所属のリーダー的存在が不可欠とされているところ、リーダーとなる次長・次席等を対象として、ハラスメント対策を含めた女性活躍支援に関するトレンドを確実に理解させるため、コンサルタント会社に業務委託し、講義、グループワークによる女性活躍支援に関する研修会を開催する。

イ 若手女性警察官に対して、自らのキャリアプランを思い描かせてキャリア形成を実現するため、コンサルタント会社に業務委託し、オリエンテーション、グループワーク、女性活躍度調査結果を踏まえたキャリアデザインに関する講義などの一連の研修会を開催する。

(3) 県負担・補助率の考え方

女性職員の働き方とキャリアアップを推進するとともに、全職員の働き方改革を推進することは警察職員として必要なことであり、県負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	1,092	女性活躍支援研修、キャリア形成に関する研修会
合計	1,092	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略
Ⅱ－１－（２）－① 性差に関わらず活躍できる社会の確立
- ・「岐阜県警察におけるワークライフバランス等の推進のための取組計画」

(2) 国・他県の状況

警察庁から全国の警察本部に対して女性警察官が一層活躍するための職場環境の整備等について指示が出されている。

(3) 後年度の財政負担

年度末に実施を予定するアンケート結果等を勘案しながら、予算額を検討する。

(4) 事業主体及びその妥当性

法に基づく女性活躍推進事業は、事業主である県が主体であり妥当である。

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

令和8年4月1日までに女性警察官の割合を12%程度とすることなどを目標に掲げ、女性警察官の採用の拡大を推進しているところ、女性警察官の早期キャリア形成及び約9割を占める男性警察官の継続的な意識改革を図ることで男性職員と等しく能力を発揮できる職場環境を醸成する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
						%
①						%
②						%

○指標を設定することができない場合の理由

女性職員のキャリア形成及び職員の意識改革を事業の目的としており、目標を示すことは困難である。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	女性警察官の活躍度に関する診断、女性警察官等の活躍に向けた講演会の開催、キャリア形成研修会の開催 女性活躍推進度の数値化を図り、県警察の立ち位置を明らかにした。
令和3年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価)	女性職員の活躍推進のため、法に基づき実施する事業であり、
3	必要性は高い。
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	研修等による成果については、中長期的な検証が必要である。
1	
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価)	TV 会議システムを活用し、多数の聴講を可能とするなど事業効果を高めた。
2	

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 令和 8 年 4 月 1 日までに警察官に占める女性警察官の割合 12%の達成と幹部における女性警察官の割合の増加を図るためには、継続的な意識改革が必要である。</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 各所属における女性活躍に関するリーダーの育成及び約 9 割を占める男性警察官の更なる意識改革が必要である。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	